



# 校長通信

令和5年度 1号 令和5年4月12日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

## 《新年度当初のごあいさつ！》

新緑が目にもまぶしいうらかな季節となりました。生徒が植えたパンジーやチューリップが、とてもきれいに咲いています。

さて、私こと、戸川定昭、河北中学校の校長を拝命し、4年目となりました。今年度も、どうかよろしくお願いします。

昨年度、校長通信を34号まで出しました。今年度も、学校の取組、生徒の様子など、私のプライベートな話題も交えながら、刊行していきたいと思えます。

なお、校長通信は昨年度版・一昨年度版・令和2年度版も含め、バックナンバーを河北中学校のHPに掲載しておりますので、必要に応じてご参照ください。



## 《入学式・新任式・対面式・始業式を実施しました》

4月10日（月）、好天に恵まれた温かい日差しのもと、入学式を挙行し、116名の新入生を新たに迎えました。また、あくる日、4月11日（火）、新任式・対面式・始業式を行いました。入学式・対面式で、それぞれ新入生の代表者が、少し緊張した面持ちでしたが、落ち着いて、中学校生活の抱負を語ってくれました。すばらしかったです。

始業式、校長の式辞で、失敗を恐れず、積極的に挑戦することの大切さを生徒たちに話をしました。そして挑戦した後、うまくいったとしても、気を緩めず、うまくいかなかったとしても、その原因を振り返り、次に生かす「残心」の精神を忘れないよう話をしました。

また、エンジェルスの大谷翔平選手がホームランを打った後、チームメイトから兜をかぶせられたシーンを掲載した新聞から引用して、ことわざ「勝って兜の緒を締めよ」の意味を解説しました。戦に勝っても、兜の紐を締め直し、次の戦に備えよという原義は、まさしく私が日頃から話している「残心」の意味とほぼ同義であることを解説し、しぶといようですが、事を終えても、油断せず、しっかり振り返ることの大切さを力説しました。生徒は、真剣なまなざしで話を聞いてくれていました。

